

インデックスファンド海外新興国（エマージング）株式 ＜愛称 DC インデックス海外新興国株式＞

追加型投信／海外／株式／インデックス型

交付運用報告書

第13期（決算日2020年11月16日）

作成対象期間（2019年11月19日～2020年11月16日）

第13期末（2020年11月16日）	
基準価額	14,042円
純資産総額	23,694百万円
第13期	
騰落率	10.8%
分配金（税込み）合計	10円

(注) 騰落率は分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書（全体版）に記載しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、下記の手順にて閲覧・ダウンロードいただけます。

＜運用報告書（全体版）の閲覧・ダウンロード方法＞

右記URLにアクセス ⇒ ファンド検索機能を利用して該当ファンドのページを表示 ⇒ 運用報告書タブを選択 ⇒ 該当する運用報告書をクリックしてPDFファイルを表示

○運用報告書（全体版）は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、「インデックスファンド海外新興国（エマージング）株式」は、2020年11月16日に第13期の決算を行ないました。

当ファンドは、主として「海外新興国株式インデックスMSCIエマージング（ヘッジなし）マザーファンド」受益証券に投資を行ない、「MSCI エマージング・マーケット・インデックス（円ヘッジなし・円ベース）」に連動する投資成果をめざして運用を行なってまいりました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

<940984>

日興アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号
www.nikkoam.com/

当運用報告書に関するお問い合わせ先

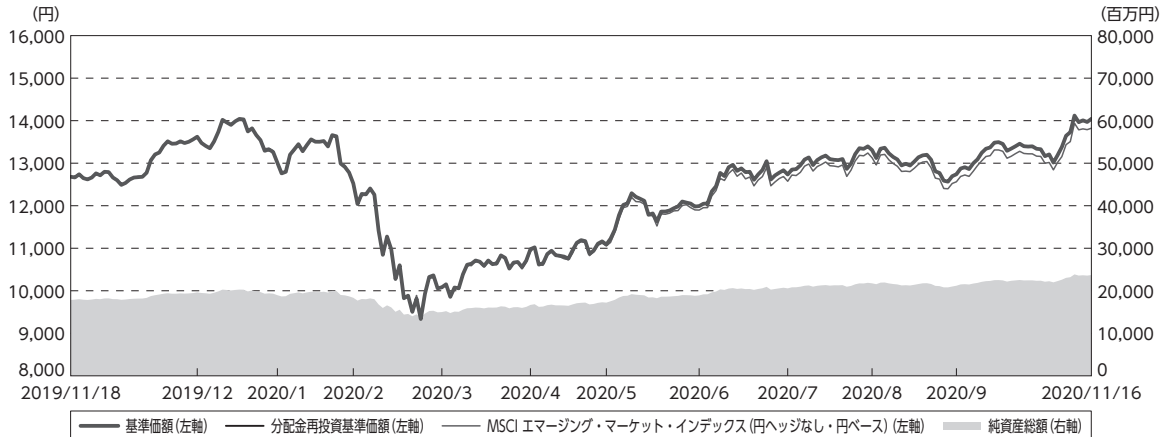
コールセンター 電話番号：0120-25-1404
午前9時～午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

運用経過

期中の基準価額等の推移

(2019年11月19日～2020年11月16日)



期首：12,680円

期末：14,042円（既払分配金（税込み）：10円）

騰落率：10.8%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額およびMSCI エマーヅング・マーケット・インデックス（円ヘッジなし・円ベース）は、期首（2019年11月18日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) MSCI エマーヅング・マーケット・インデックス（円ヘッジなし・円ベース）は当ファンドのベンチマークです。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として「海外新興国株式インデックスMSCIエマーヅング（ヘッジなし）マザーファンド」受益証券に投資を行ない、「MSCI エマーヅング・マーケット・インデックス（円ヘッジなし・円ベース）」に連動する投資成果をめざして運用を行なっております。当作成期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

<値上がり要因>

- ・米中貿易協定で「第1段階」の原則合意への期待が高まったことや、実際に合意署名に至り、今後の貿易協定の進展が期待されたこと。
- ・米国政権と議会指導部が2兆アメリカドル規模の新型コロナウイルス問題への経済対策法案で合意したことを受けて世界的な景気停滞の回避が可能との期待が高まったこと。
- ・多くの新興国が政策金利を引き下げたこと。

＜値下がり要因＞

- ・新型コロナウイルスの感染が中国から世界中に拡大し、世界経済の急激な停滞を招くとの警戒感が高まったこと。
- ・米中対立激化への警戒感が強まったこと。
- ・新興国の通貨が対円で総じて下落したこと。

1万口当たりの費用明細

(2019年11月19日～2020年11月16日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	円 46 (13) (29) (4)	% 0.372 (0.104) (0.235) (0.033)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料 (株式) (新株予約権証券) (投資信託証券) (先物・オプション)	8 (6) (0) (0) (2)	0.064 (0.047) (0.000) (0.000) (0.018)	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有価証券取引税 (株式) (新株予約権証券) (投資信託証券)	7 (7) (0) (0)	0.059 (0.059) (0.000) (0.000)	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用 (保管費用) (監査費用) (印刷費用) (その他)	20 (17) (1) (1) (1)	0.163 (0.140) (0.004) (0.007) (0.011)	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 印刷費用は、法定開示資料の印刷に係る費用 その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	81	0.658	
期中の平均基準価額は、12,339円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

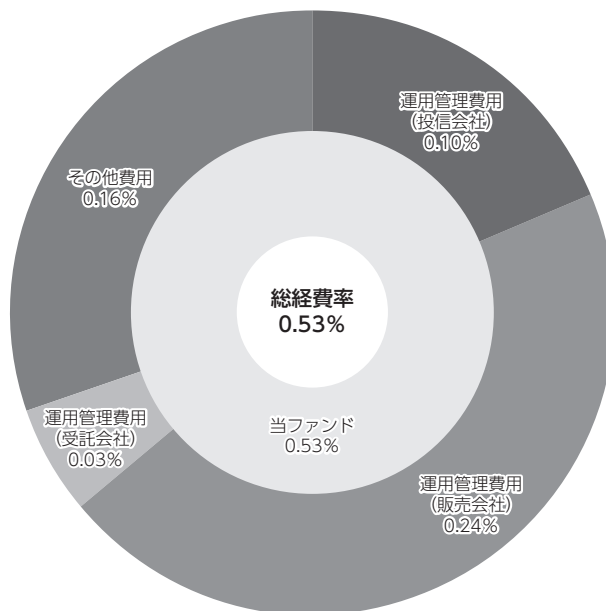
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.53%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

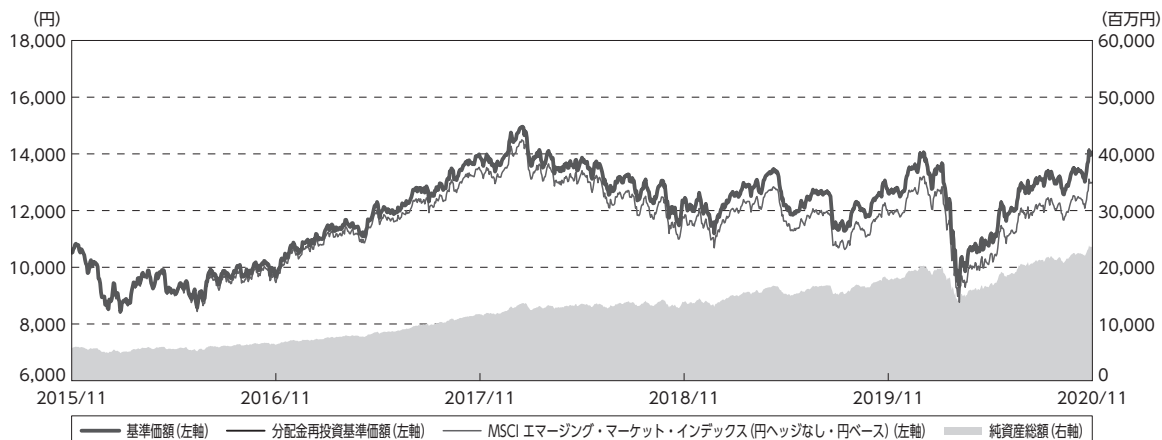
(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2015年11月16日～2020年11月16日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額およびMSCI エマーヅング・マーケット・インデックス（円ヘッジなし・円ベース）は、2015年11月16日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2015年11月16日 決算日	2016年11月16日 決算日	2017年11月16日 決算日	2018年11月16日 決算日	2019年11月18日 決算日	2020年11月16日 決算日
基準価額 (円)	10,517	9,783	13,573	12,213	12,680	14,042
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	10	10	10	10	10
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	△ 6.9	38.8	△ 9.9	3.9	10.8
MSCI エマーヅング・マーケット・インデックス (円ヘッジなし・円ベース) 騰落率 (%)	—	△ 8.8	37.0	△ 11.3	2.4	9.0
純資産総額 (百万円)	5,785	6,416	11,464	13,838	17,830	23,694

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
- (注) MSCI エマーヅング・マーケット・インデックス（円ヘッジなし・円ベース）は当ファンドのベンチマークです。

投資環境

（2019年11月19日～2020年11月16日）

（新興国株式市況）

新興国株式市場では、期間の初めと比べて、新興国各国の株価は概して下落しました。

期間の初めから2020年1月中旬にかけては、米中貿易協議での「第1段階」の原則合意への期待の高まりや、実際の合意署名により今後の貿易協議の進展が期待されたこと、英国と欧州連合（EU）との間の離脱協定改定案の合意などを受けて、英国の合意なきEU離脱が回避されるとの見方が強まったことなどを背景に、新興国各国の株価は総じて上昇しました。1月下旬から3月中旬にかけては、新型コロナウイルスの感染が中国から世界中に拡大し、世界経済の急激な停滞を招くとの警戒感が高まったことや、石油輸出国機構（OPEC）がロシアなどOPEC非加盟国と減産拡大で合意できなかったことを契機とした原油価格の急落や、それを受けた産油国株式市場の下落などから、新興国各国の株価は総じて下落しました。3月下旬から期間末にかけては、米中対立激化への警戒感が強まったことなどが株価の重しとなったものの、米国政権と議会指導部が2兆アメリカドル規模の新型コロナウイルス問題への経済対策法案で合意したことを受けて世界的な景気停滞の回避が可能との期待が高まったことや、新型コロナウイルスの感染者数の増加ペースが鈍化し感染拡大がピークを越えつつあるとの観測から経済活動の早期再開の見方が高まったこと、多くの新興国が政策金利を引き下げたこと、米国の低金利政策が長期化するとの見方が強まったこと、新型コロナウイルスの治療薬やワクチンの研究開発への期待が高まったことなどが株価の支援材料となり、新興国各国の株価は総じて上昇しました。

（為替市況）

期間中の新興国通貨は、期間の初めと比べて対円で総じて下落しました。

米中貿易協議での「第1段階」とされる部分合意や、各国の政策発動を受けた景気回復期待などが新興国通貨の支援材料となったものの、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により新興国景気の先行きが懸念されたことや、欧米諸国での新型コロナウイルスの感染再拡大への懸念、米国と中国との間の政治的対立の激化を背景にリスク回避の円買いが先行したことなどから、新興国通貨は対円で総じて下落しました。

当ファンドのポートフォリオ

(2019年11月19日～2020年11月16日)

(当ファンド)

当ファンドは、「海外新興国株式インデックスMSCIエマージング（ヘッジなし）マザーファンド」受益証券を高位に組み入れて運用を行ないました。

(海外新興国株式インデックスMSCIエマージング（ヘッジなし）マザーファンド)

ベンチマークが採用している国の株式の中からリスクコントロールモデルを使用して構築したポートフォリオで運用を行ない、期間を通じて株式組入比率を高位に維持しました。また、ベンチマーク採用銘柄の入替えなどに対応するために、随時ポートフォリオの見直しを行ないました。

なお、外貨建資産は、為替ヘッジを行わず、高位の外貨エクスポージャーを維持しました。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2019年11月19日～2020年11月16日)

期間中における基準価額は、10.8%（分配金再投資ベース）の値上がりとなり、ベンチマークである「MSCI エマージング・マーケット・インデックス（円ヘッジなし・円ベース）」の上昇率9.0%を概ね1.8%上回りました。

ベンチマークとの差異における主な要因は以下の通りです。

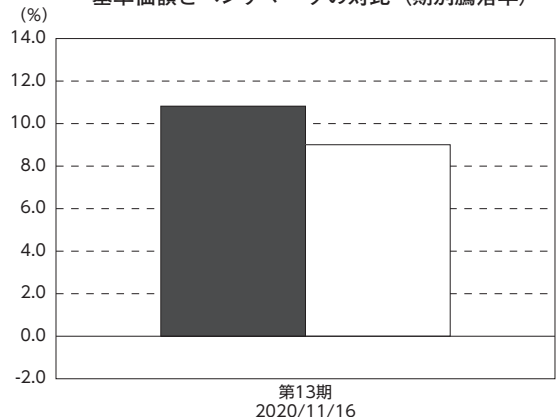
<プラス要因>

- ・ 個別株式の組入れに基づく要因。
- ・ 株式先物の売却タイミング（海外休日などに依る）に基づく要因。
- ・ 配当金の受取り。

<マイナス要因>

- ・ 海外コストディー・フィーや売買手数料などの諸費用。
- ・ 信託報酬などの諸費用。

基準価額とベンチマークの対比（期別騰落率）



■ 基準価額
□ MSCI エマージング・マーケット・インデックス (円ヘッジなし・円ベース)

(注) 基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。

(注) MSCI エマージング・マーケット・インデックス（円ヘッジなし・円ベース）は当ファンドのベンチマークです。

分配金

（2019年11月19日～2020年11月16日）

分配金は、基準価額水準、市況動向などを勘案し、以下のとおりといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第13期
	2019年11月19日 ～2020年11月16日
当期分配金	10
（対基準価額比率）	0.071%
当期の収益	10
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	8,078

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

（当ファンド）

引き続き、ファンドの基本方針に則り、「海外新興国株式インデックスMSCIエマージング（ヘッジなし）マザーファンド」受益証券を原則として高位に組み入れて運用を行ないます。

（海外新興国株式インデックスMSCIエマージング（ヘッジなし）マザーファンド）

引き続き、ベンチマークである「MSCI エマージング・マーケット・インデックス（円ヘッジなし・円ベース）」に連動する投資成果をめざし、原則としてリスクコントロールモデルにより構築した現物株式ポートフォリオへの投資を継続するとともに、現物株式と株式先物取引を合計した実質的な株式組入比率を高位に維持する方針です。また、外貨建資産は、原則として為替ヘッジを行わず、高位の外貨エクスポージャーを維持する方針です。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

お知らせ

2019年11月19日から2020年11月16日までの期間に実施いたしました約款変更は以下の通りです。

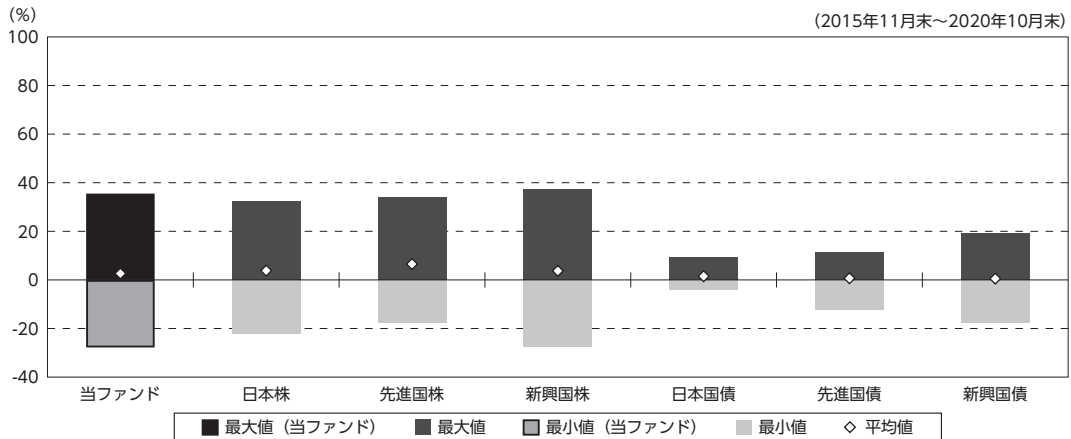
当ファンドについて、受益者の利便性向上を図るため、信託報酬率を年10,000分の21（税抜）引き下げて、総額を年10,000分の34（税抜）とするべく、2020年10月1日付けにて信託約款の一部に所要の変更を行ないました。（第39条）

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式／インデックス型	
信託期間	2008年4月1日から原則無期限です。	
運用方針	「海外新興国株式インデックスMSCIエマージング（ヘッジなし）マザーファンド」受益証券に投資を行ない、「MSCI エマージング・マーケット・インデックス（円ヘッジなし・円ベース）」の動きに連動する投資成果をめざします。	
主要投資対象	インデックスファンド海外新興国（エマージング）株式	「海外新興国株式インデックスMSCIエマージング（ヘッジなし）マザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。
	海外新興国株式インデックスMSCIエマージング（ヘッジなし）マザーファンド	新興国の株式を主要投資対象とします。
運用方法	主として「海外新興国株式インデックスMSCIエマージング（ヘッジなし）マザーファンド」受益証券に投資を行ない、「MSCI エマージング・マーケット・インデックス（円ヘッジなし・円ベース）」に連動する投資成果をめざして運用を行ないます。運用の効率化をはかるため、株価指数等先物取引や外国為替予約取引などを活用することがあります。	
分配方針	毎決算時、原則として分配対象額のなかから、基準価額水準、市況動向などを勘案して分配を行なう方針です。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行なわないこともあります。	

（参考情報）

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位：%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	35.5	32.2	34.1	37.2	9.3	11.4	19.3
最小値	△27.8	△22.0	△17.5	△27.4	△4.0	△12.3	△17.4
平均値	2.6	3.8	6.5	3.7	1.5	0.7	0.5

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2015年11月から2020年10月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数（TOPIX、配当込）

先進国株：MSCI-KOKUSAIインデックス（配当込、円ベース）

新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込、円ベース）

日本国債：NOMURA-BPI国債

先進国債：FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債：JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド（円ヘッジなし、円ベース）

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

指数について

●東証株価指数（TOPIX、配当込）は、東京証券取引所第一部に上場している国内普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、東京証券取引所に帰属します。●MSCI-KOKUSAIインデックス（配当込、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。●MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。●NOMURA-BPI国債は、野村證券株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、対象インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、対象インデックスを用いて行われる日興アセットマネジメント株式会社の事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。●FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、当指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。●JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド（円ヘッジなし、円ベース）は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2020年11月16日現在)

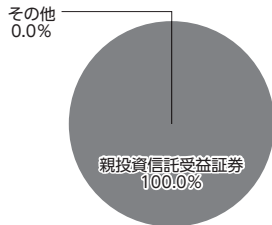
○組入上位ファンド

銘柄名	第13期末
海外新興国株式インデックスMSCIエマージング（ヘッジなし）マザーファンド	100.0%
組入銘柄数	1銘柄

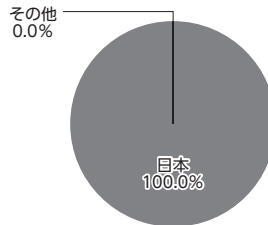
(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

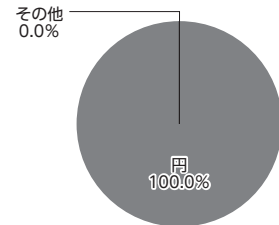
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

純資産等

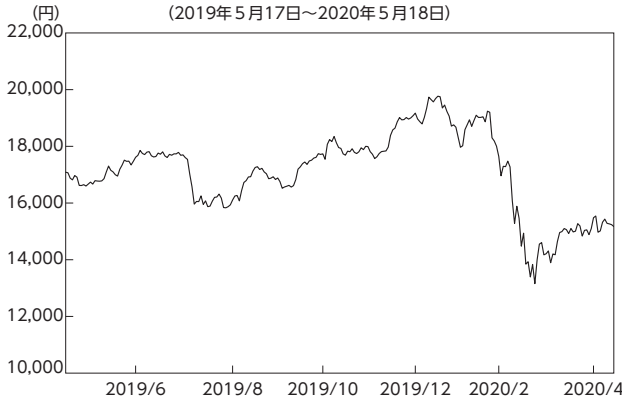
項目	第13期末
	2020年11月16日
純資産総額	23,694,476,678円
受益権総口数	16,873,713,659口
1万口当たり基準価額	14,042円

(注) 期中における追加設定元本額は6,250,780,188円、同解約元本額は3,438,961,920円です。

組入上位ファンドの概要

海外新興国株式インデックスMSCIエマージング（ヘッジなし）マザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2019年5月17日～2020年5月18日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (株) 株式 (株) 株予約権証券 (投) 投資信託証券 (先) 先物・オプション	18 (13) (0) (0) (5)	0.105 (0.076) (0.000) (0.001) (0.029)
(b) 有価証券取引税 (株) 株式 (株) 株予約権証券 (投) 投資信託証券	12 (12) (0) (0)	0.069 (0.069) (0.000) (0.000)
(c) その他費用 (保) 保管費 (そ) その他	26 (25) (1)	0.154 (0.146) (0.007)
合計	56	0.328

期中の平均基準価額は、17,120円です。
 (注) 上記項目の概要につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。
 (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
 (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

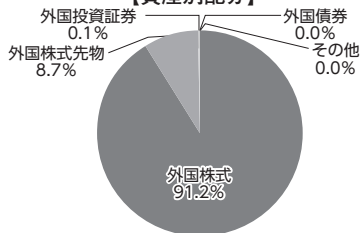
【組入上位10銘柄】

(2020年5月18日現在)

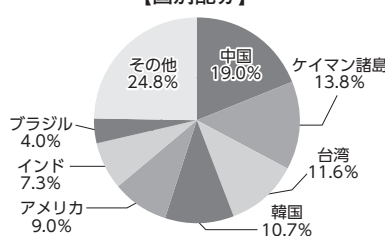
銘柄名	業種／種別等	通貨	国（地域）	比率
1 MINMSCIE	株式先物（買建）	アメリカドル	アメリカ	8.7%
2 ALIBABA GROUP HOLDING-SP-ADR	小売	アメリカドル	ケイマン諸島	6.4%
3 TENCENT HOLDINGS LTD	メディア・娯楽	香港ドル	中国	5.6%
4 TAIWAN SEMICONDUCTOR MANUFAC	半導体・半導体製造装置	新台幣ドル	台湾	4.4%
5 SAMSUNG ELECTRONICS CO LTD	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	韓国ウォン	韓国	3.3%
6 CHINA CONSTRUCTION BANK-H	銀行	香港ドル	中国	1.4%
7 NASPERS LTD-N SHS	小売	南アフリカランド	南アフリカ	1.3%
8 PING AN INSURANCE GROUP CO-H	保険	香港ドル	中国	1.0%
9 RELIANCE INDUSTRIES LTD	エネルギー	インドルピー	インド	1.0%
10 CHINA MOBILE LTD	電気通信サービス	香港ドル	香港	0.8%
組入銘柄数				1,289銘柄

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。
 (注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。
 (注) 国（地域）につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

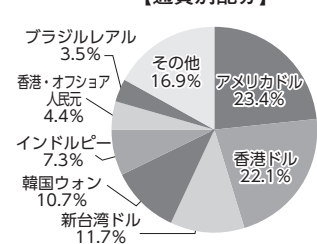
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。
 (注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。
 (注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。
 ※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書（全体版）をご参照ください。